

夏休み回顧・・・



さて、夏休みを振り返って・・・いかがですか？ あっという間の夏休み。「まあ明日やればいいや～」なんて後回しにしてきたもの、そのままじゃ～ないだろうね。

夏休み前の集会で話しましたが、1年次生のみなさん。『学習の自立』ができましたか？ 2年次生のみなさん。学習も部活動も『一つ上を目指す取り組み』ができましたか？ そして、3年次生のみなさん。『本気になって、妥協せず、無理をして』でも、自分の志望を叶えるための努力ができましたか？

100%満足のいく生活ができたなんて人は、そんなにはいないでしょうが、しっかりと計画通りにやれたこと、やり残したこと、休み中にできるようになったこと、まだ不十分なこと・・・など、今一度整理し、反省すべきところは、しっかり手直しし、良かったところは継続しながら、次なるステップへと進んでいきましょう。

今月の一言 『成功には偶然があり、失敗には訳がある』

8・9月の進路に関する行事

- 1・2年次高校総合学力調査
8月28日(火) 第1限、8月29日(水) 第1限～第3限
- 3年次外部模試
9月2日(日) 全統記述模試 (公開会場:東海学院大学)
- 土曜補習(2・3年次)
9月8日(土) いよいよ前期最後の講座です。
- 3年次センター試験説明会・推薦に関する説明会
9月11日(火) 第7限 体育館 『センター試験について』
放課後 青桜館 『推薦に関する説明会』(希望者のみ)
- 2年次進路研究発表会
9月11日(火)第7限 夏休みの『大学調べ』『オープンキャンパス』の報告会。
- 3年次保護者進路説明会 (別途案内配布します)
9月25日(火) 15:00～ 青桜館(または体育館)
- 前期期末考査
9月21日(金)～27(木)

センター試験の「受験案内」を配布します。
いよいよ始まります。



『青桜祭からの切り替え』がポイントです。

※ 後期土曜補習 の案内および申込受付します。後期からは1年次生も実施します。積極的に参加し、少しでも自分のものにして、学力の伸長を図りましょう。

<裏面は、6月教育実習の先生(先輩)方から、『自身の文理選択について、受験に向けてのアドバイス』等～後輩へのアドバイス～として書いていただいたものです。参考にしてください。

・高校時代は理系でした。理系の職業に興味があったり、数学が好きだったわけではなく、あくまでも理系科目が楽しかったからです。

大学は、公募制推薦で現在の大学に入学しました。面接指導をして下さった先生に「どんな質問でも、あなたが3年間で一番頑張ったことに繋げればいい」と教えて下さり、本番成功に繋がりました。合格は秋でしたが、その後も、小テストや予習を怠らず勉強したことで、大学での授業でも役立っています。

・理系科目よりも国語や英語の勉強の方が得意で、文系を選択しました。

受験に向けてのアドバイスは、保護者の意見も大切ですが、将来自分が後悔しないように、**最後の決断は自分です**ることが大事だと思います。そのために、学校の先生やオープンキャンパスや説明会などで、たくさん話を聞いて、希望の進路を実現させてください。

・受験に向けて『積極的な情報収集』と『先生への質問』をお勧めします。私自身、オープンキャンパスで体験授業を受け、スタッフと話してフランス学科の魅力を知り、現在の満足する大学生活に繋がっていると感じます。

高校時代、職員室前で先生にたくさん質問をしました。一人で頑張るばかりでなく、受験そのものや入試問題等の悩みを解消しながら勉強を続けました。3年の秋に苦手科目のセンター過去問が3割未満だったのが、当日は8割に到達しました。粘り強く勉強を続けてみてください。**最後まで粘って決めた進路は悔いなく充実したものになる**と思います。

・数学と理科が好きだったので理系を選択しました。自分の好きな教科・科目で文理選択するのもいいと思います。また、受験に必要な科目で選択することも必要です。

受験に向けて、私は、学校の『定期試験』を一番に頑張りました。内申点も上がり推薦入試に役立つことと、一般入試への自信にも繋がりました。周りに流されず、自分の強い意志をもって卒業後の進路を決められるよう頑張ってください。

・人と関わるのが好きで、社会や国際関係に興味があり、文系を選択しました。

受験は、何か『明確な目標を持つ』ことができれば、それに向かって諦めずに進めることができます。まずは目標を見つけてください。

・受験勉強のアドバイスとして2つ。

- ①3年冬の学力の伸びを信じて粘り強く取り組み続けること。
- ②進路目標を少し上に設定すること。

・受験は、不安もプレッシャーもありますが、それをはねのけられるのは、『毎日コツコツ勉強した事実』だけです。自分を信じて頑張ってください。